

武庫川流域委員会第 6 回まちづくり WG 会議資料
まちづくり WG 会議のこれまでの検討経緯と今後について(案)

2006.01.18 まちづくり WG 主査 田村博美

A 検討項目についての課題		B 委員会、WG の今後の検討及び作業方針、スケジュール等				
協議内容(項目)050514 提示 その後提起された内容	課題	これまでの検討結果	今後の検討方向(案)	基本方針・整備計画に活かす	付属資料として取りまとめる	委員会後の課題とする
<p>武庫川の位置づけと役割 -1 武庫川に関する資料の読み込みと分析・評価、現況の課題等</p> <p>-2 武庫川とまちづくり、地域づくりに関する各市、県民局の意向</p>	<ul style="list-style-type: none"> 各市の総合計画、都市計画 MP、阪神間都市計画等の将来予測の期間はせいぜい 10 年である。また、近年少子高齢社会が進行し、都市部においても人口減少が予想される。このように、流域の人口や土地利用フレームの超長期、長期的見通しは不可能な状況であると判断し、河川整備基本方針や整備計画の中で流域の将来像等項目についての記載内容は十分に吟味される必要がある。 都市やまちづくり、地域づくりと武庫川とのかかわりについて沿川各市及び県民局の考え方を調査する。 	<p>一部既存資料の追加は行うが、今以上の検討作業は行わない。</p> <p>したがって、本項目について流域都市、関係機関へのヒアリングはとくに行わない。</p> <ol style="list-style-type: none"> 各市総合計画による武庫川の位置づけ等 050828 田村資料 各市都市計画マスタープラン等による武庫川の位置づけ等 050828 田村 武庫川流域の計画と阪神間都市計画区域等との調整・関連整理の必要性 050901 田村 武庫川流域委員会第 5 回まちづくり部会 050914 資料田村 <ol style="list-style-type: none"> 関連各市、県民局へのヒアリング調査中 060118 アンケート結果資料 	<p>-1 については追加検討はしない。</p> <p>-2 についてはアンケートのとりまとめを行い第 33 回以降の委員会で報告予定。</p>	<p>B,C 流域都市の将来像記載の仕方に留意する。</p> <p>「現在は、社会経済動向、変化が激しく、長期の予測は不可能である。したがって、基本方針、整備計画は変動要因が大きな場合スムーズにローリングしていく必要がある。」といった記載を行う。</p>		×
<p>武庫川総合治水の促進 -1 土地利用規制等市街化区域、調整区域の流出抑制策</p> <p>-2 一時貯留施設整備</p> <p>-3 建築、都市整備面からの超過洪水対策危機管理対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> 将来土地利用動向について開発規制、既存林地保全等流出抑制策の検討 市街化農地、公共公益施設用地、学校、公園、民間グラウンド、駐車場等の雨水一時貯留化 建築用地の多目的遊水池化 災害に強い住宅地づくり、住宅群づくり、建築のピロティ化等減災化対策 	<p>-1、-2 は、具体策については基本的に総合治水 WT の中で検討協議、提案を行っていく。下水道による貯留、合流改善等の検討も要す。</p> <p>-3 については地区計画等での検討等対応方策案を検討する。</p> <p>以上の検討にあたり必要に応じ関係機関のヒアリングを行う。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 実施中の各市アンケート調査の結果を合わせ取りまとめる。第 33 回以降の委員会で報告予定。 ハザードマップ未作成のため具体の検討は不可。アイデアとしての提案に止める。 	<p>B 流域の開発抑制等都市政策、土地利用対策と一体となった総合治水対策を進める。</p> <p>B 超過洪水への理解と認識を深める。</p> <p>都市整備、建築整備と一体化した事業、制度制定と耐水化促進。地域コミュニティと連動したソフト対策の促進。</p>		×
<p>武庫川と周辺地域の魅力づくり、特色と個性ある川づくりに向けた取り組み 歴史文化、レクリ、スポーツ需要、景観資源の活用と景観整備、川を活かし、川に向かったまちづくり等 都市やまちと武庫川の中継交流拠点、情報拠点、文化拠点としての仮称「川の駅」の提案と構想づくり等</p>	<ul style="list-style-type: none"> 武庫川と沿川の公園緑地、樹林等景観資源分布、主な公共公益、教育施設分布、歴史文化資源分布、民間オープンスペース分布、旧街道、ハイキング道、水路網等を 1/5000 図で整理し、分析評価し計画提案を行う。 県より入手し地区カルテベース図作成済み(36 分割図) 沿川の地域資源分布状況、交通アクセス条件、都市、まち側と武庫川の交流点、上中下流域の交流点、支流と本流の交流点等を調査分析し多機能交流拠点、防災拠点としての仮称「川の駅」を提案する。 	<p>武庫川を中心とし周辺都市、農村を含めた情報資料として編集する。データ収集をワークショップで実施したり、カルテを小中学生の環境教育、まちづくり教育に活用したり、市民が散策やハイキングに利用したり(武庫川事典)として作成を目指す。</p> <p>以上の検討にあたり必要に応じ関係市、関係機関のヒアリングを行う。</p> <p>現在の状況：</p> <ol style="list-style-type: none"> 「川の駅」構想提案 051102 田村資料 「河川防災ステーション」提案 051115 佐々木資料。 武庫川と沿川を 36 ブロックに分割し、ベース図完成、カルテ化 20 完成、明治の武庫川 12 完成。060118 まち WG 資料(伊藤、岡田、草薙、酒井、田村)参照 	<ol style="list-style-type: none"> 武庫川カルテの推敲及び追加作業。 但しどこまで実施するか検討要。 カルテを活用し、仮称「川の駅」「武庫川塾」等の提案を継続検討していく。 「河川防災ステーション」の検討。 その他 	<p>B,C に関する現況把握と評価データの追加及び修正要。</p> <p>B,C 「武庫川カルテ」作成等武庫川に関するデータベース化と、流域住民等への公開、情報共有化の促進を方針に盛り込む。また、これらを活用した地区の現状に即した計画立案を行う。</p> <p>C,D 「武庫川カルテ」分析を活かして、モデル的提案を行う。その他ハード、ソフトに関わる提案を行う。</p>		今後継続して作成、追加、修正していける仕組みを準備。武庫川カルテ(武庫川事典)手引き書として別途編纂、公表していく。今後「武庫川流域会議」等の結成、河川整備計画立案に向けたツールとして活用する。武庫川に関する総合的なデータベースとして拡充していく。
<p>上流中流下流の連携策</p>	<ul style="list-style-type: none"> 多様な活動組織、活動概要の整理 	<p>既存資料の活用と連携方策の検討</p> <ol style="list-style-type: none"> 武庫川流域連携について 051115 伊藤資料 	<p>どこまで言及するか。</p>	<p>D 多様な連携組織の構築</p>		今後流域連携を実践していく組織を準備していく。
<p>武庫川の景観整備</p>	<ul style="list-style-type: none"> 周辺環境条件と都市景観や土地利用にあわせた武庫川の景観、風景造り 	<p>既存計画、条例等収集整理中</p>	<p>武庫川としての景観整備のあり方課題出し程度。</p>	<p>C 武庫川としての個性ある風景づくり、景観づくり</p>		
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> 平常流量の確保、流域の水循環潮止め堰の見直し等 その他フロー-B,C,D に関わる提案 以上に関わる他事例調査、資料収集 アンケート調査のとりまとめ 	<ol style="list-style-type: none"> 環境・まちづくり WG アンケート調査まとめ 051104 資料 	<p>どこまで言及するか。</p> <p>今後開催の川「ミーティング」等で概要を報告予定。</p>	<p>アンケート結果の中で B,C,D 項目に活かせるものは提案として採りあげる。</p>		